



平成30年度刈羽中学校の教育

変化の激しい社会
グローバル化、少子
高齢化などなど

■刈羽村の教育目標 【創立71周年一村一中の期待】
郷土と自然を愛し、協調連帯の精神に富み、正しい判断と行動ができる人間の育成

■刈羽っ子プラン
ふるさと刈羽を大切にする気持ちを持ち、自立して生きる「刈羽っ子」の育成

◎社会をたくましく生き抜き
抜く力、未来を切り拓く力の育成

◎刈羽を愛し、刈羽を担う人材育成

【刈羽中学校教育目標】
豊かな心を持ち、たくましく実践して未来を創造する生徒

【長所】

- 丁寧で温かい教育
- 活発な生徒会活動・部活動
- まとまり・協働性
- 「刈羽が好き」な生徒「刈中生が好き」な地域

【平成30年度刈羽中学校スローガン】
プラス波動 「挑越」
～貫け 築け「刈中スタイル」～

「刈中スタイル」 貫け「一生懸命のかっこよさ」「堂々のかっこよさ」
「かっこつけないかっこよさ」「見本を見せ続ける」
築け「自ら動く」「思い切ってやってみる」

【課題】

- 自主性・積極性の伸長
- 授業力の向上
- 教育課程の計画的な実施・メリハリ・時間

全職員が、スローガンを意識し、まとまって、丁寧で温かい教育を実践し、長所を伸ばし、課題を解決していく。

- 5つの柱 ‘本来’ に力を入れる
- 1 授業 学校・学習の大黒柱は授業。教えることを楽しみ、プロとして生徒を伸ばす。
○優先順位 1授業 2宿題（授業と関連した課題） 3自学（学年部で出す宿題）
 - 2 学級 認め合う温かい雰囲気。生徒とともに。「普段と違う」には気づく学級，学年，教科担任。
 - 3 生徒会 自主性・積極性を伸ばす。「教師作成 生徒実行」→「生徒作成・実行 教師支援」
 - 4 部活動 部活だからこそルールとマナーを徹底する。楽しい。文武両道，メリハリ。
 - 5 家庭・地域 学校と地域は共同体。コミュニティ・スクールを活用する。教師自身が地域を愛す。

教育計画（教育課程）の計画的な実践・メリハリ
プログラム委員会（毎月定例）「いつやるのか」「だれを対象にやるのか」「今の時期は何が重点なのか」

時間を守る
時間の意識が徹底している学校は、多少のことでは崩れない 「始まり」と『終わり』

研修
教師は伸ばしてなんぼ、伸びてなんぼ

タイム・マネジメント ライフ・マネジメント
生徒も教師も自らの生活をマネジメントし、豊かにする ‘やるときはやる 休むときは休む’
○退勤完了 生徒完全退校後1時間30分以内 土日休日 17時には施設完了
○部活動 年間を見通しての計画的な実施・部活動指導員制度試行

平成30年度刈羽中学校教育計画 実践・修正・実践

「一生懸命に挑戦し、自分の、自分たちの力と可能性を伸ばし、たくましく生きていく生徒」を育成したい。職員、生徒ともに、新たな気持ちで臨み、職員、生徒ともに、前向きに挑戦を続け、そして、学校全体がひとつの方向に向かうことにより、刈羽中学校をさらに前進させていきたい。「刈羽中学校の生徒でよかった」、「刈羽中学校に入学させてよかった」、「刈羽中学校の職員でよかった」と思える、温かさとし強さのある学校を目指したい。